

LIXIL

## 引違い連窓方立180°

## 組立て説明書

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**！注意** …組立てを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

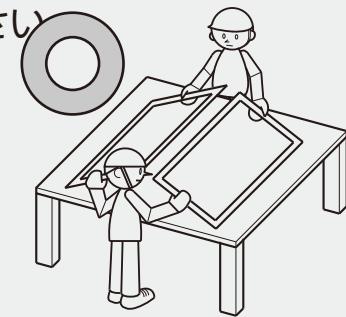
※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容
1	装飾引違い窓の連結側縦枠の全てのねじ固定穴にスペーサーを貼付けましたか？
2	連窓方立の連結側縦枠（引違い窓）固定用の下穴は溝と一致していますか？
3	防水テープはサッシ枠に沿って圧着しましたか？
4	下部キャップのツメは方立下部ピースに嵌合しましたか？

**！注意**

●漏水防止のため、下記事項をお守りください。

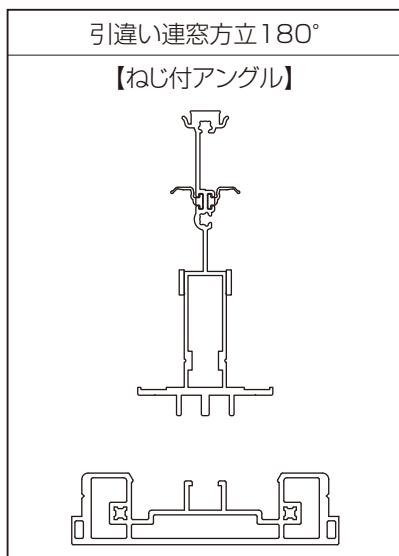
- ・装飾引違い窓を使用して連窓してください。
- ・縦枠釘打フィンのカット時、フィンカットしない部分が破損・変形しないようにしてください。
- ・また、フィンカットした部分は凹凸がないようにしてください。
- ・装飾引違い窓の連結側縦枠のすべてのねじ固定穴にスペーサーを貼付けてください。
- ・連窓方立に貼付けてあるシール材は、絶対にはがさないでください。
- ・浴室には使用しないでください。
- ・シール材を欠損させたまま組立てたり、浮きやズレがないようにしてください。
- ・サイズ・重量に応じて、複数人で組立て作業をしてください。
- ・連窓方立の連結側縦枠（引違い窓）固定用の下穴は、溝と一致させてください。
- ・ねじ止めは、連窓方立の溝と連結側縦枠（FIX窓）の溝を一致させてください。
- ・嵌合にズレやすき間がないようにしてください。
- ・防水テープはサッシ枠に沿って必ず圧着してください。
- ・下部キャップは、ツメが変形していないこと、方立下部ピースに嵌合していることを確認してください。
- ・上・下キャップの取付けには、電動ドライバーは使用しないでください。
- ・ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N}\cdot\text{m}$  { $25 \pm 5 \text{ kgf}\cdot\text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキがないこと、また排水穴にすき間があることを確認してください。
- ・排水経路を確保するため、下キャップの前面部には、シーリングをしないでください。



■組立て上のお願い

- 必ず指定の組立てねじを使用してください。
- ガラス破損防止のため、ガラスは枠を軸体に固定した後に入れてください。
- 枠連結部に無理な力をかけないでください。枠が変形するおそれがあります。移動する場合は、立てたまま連窓方立部分をしっかりと支持してください。
- 連窓後の取付けは、「連窓方立取付け説明書」を参照してください。
- 取付け説明書および取付けねじセットは、必ず取付けされる方へお渡しください。
- 反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。

■連窓方立180°の種類

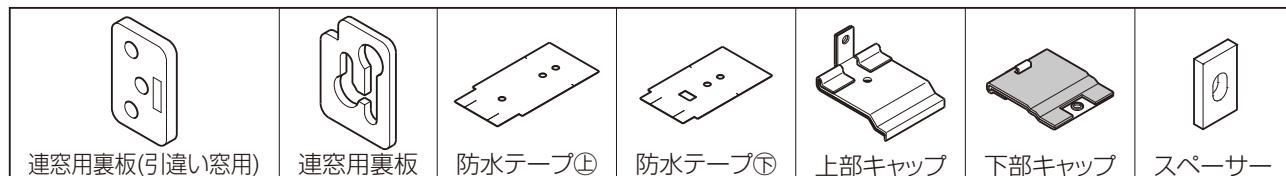


■組立てねじ一覧表

※下表の記号は本文図中の記号を表します。間違いないよう使用してください。  
※Ⓐは取付け説明書と一緒に、必ず取付けされる方にお渡しください。

Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓓ	Ⓔ
皿小ねじ 4×12	なべドリルねじ Φ4×8	組立て用		
軸体取付け用			皿木ねじ Φ3.8×25	アンダル取付けねじ Φ4×12

■部品一覧表



## ■組立て順序（組立て例：FIX窓+装飾引違い窓）

### ①連窓用裏板の取付け

#### 【FIX窓】

●連結部上下(室内側)に連窓用裏板を入れ、枠を組立てます。

①連結側縦枠上下2力所の室内側組立てねじをゆるめます。

②ゆるめたねじ頭に連窓用裏板の丸穴を引っ掛けでスライドさせ、ねじを締直してください。連窓用裏板は必ず矢印の方向にスライドさせるように取付けてください。

※連窓用裏板は上下共通です。(連窓用裏板と連窓用裏板(引違い窓用)は形状が異なります。)

#### 【装飾引違い窓】

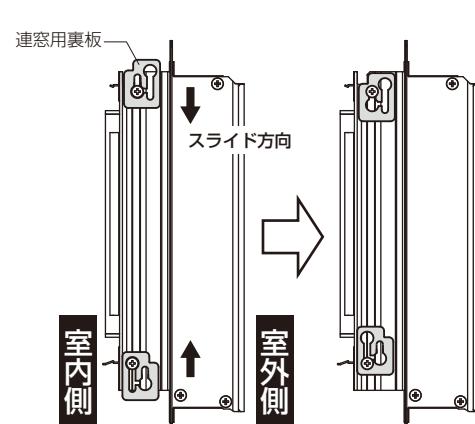
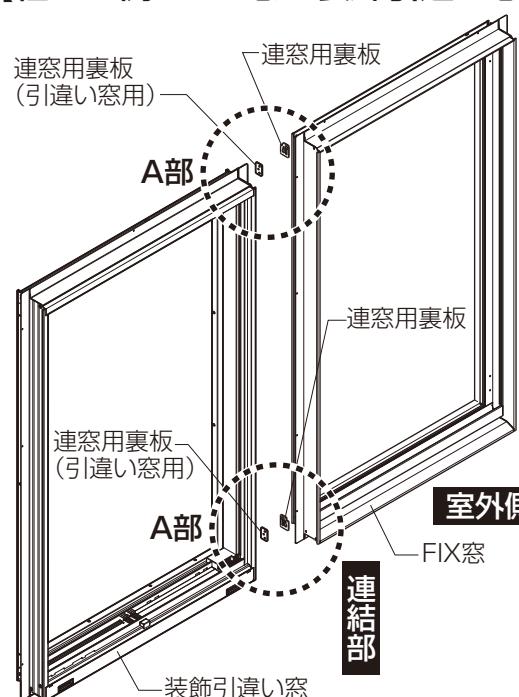
●連結部上下(室内側)に連窓用裏板(引違い窓用)を入れ、枠を組立てます。

①連結側縦枠上下2力所の室内側組立てねじをゆるめてぬき取ります。

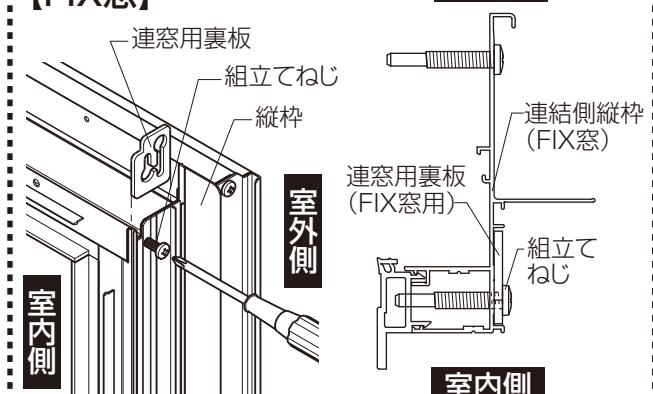
②ぬき取ったねじで、連窓用裏板(引違い窓用)を連結側縦枠上下2力所に取付けます。

※連窓用裏板(引違い窓用)は上下共通です。

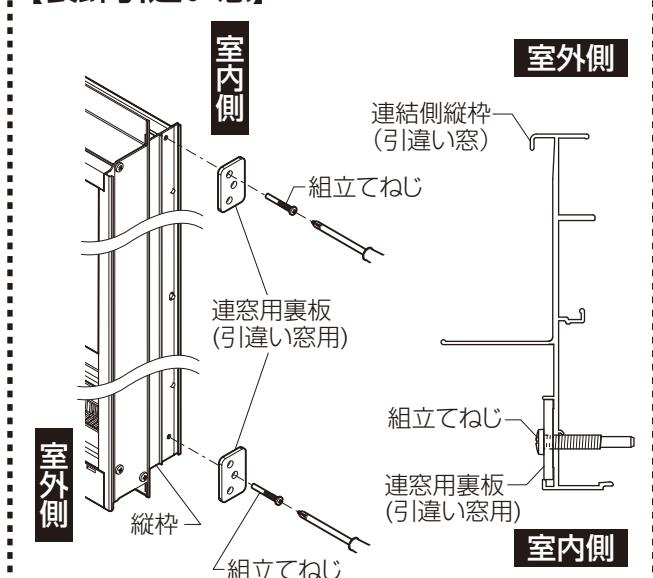
### 【組立て例：FIX窓+装飾引違い窓】 【FIX窓】



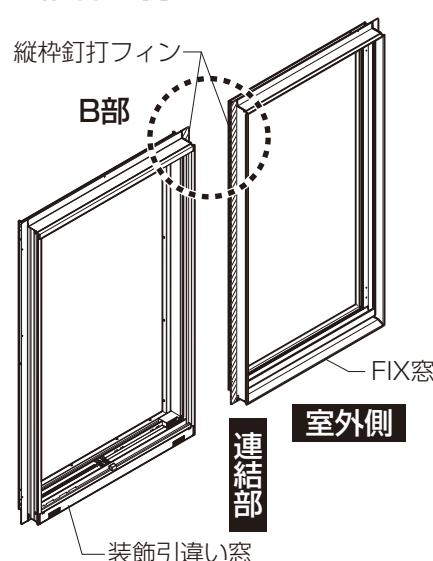
#### ■A部詳細図 【FIX窓】



#### 【装飾引違い窓】



### ②縦枠釘打フィンのカット



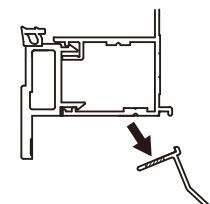
①連結側の縦枠釘打フィンのV溝にカッターで1~2回スジをつけます。

②プライヤーなどでまず 部を、次に 部を折り曲げながら取去ります。

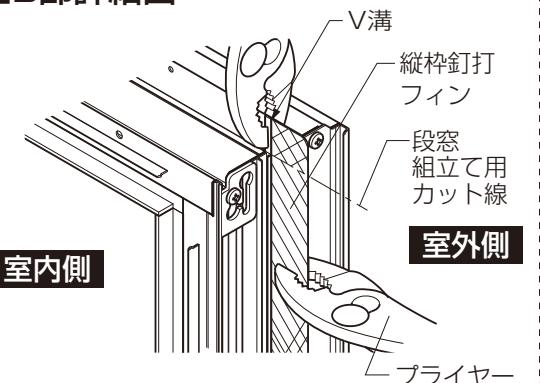
※縦枠釘打フィンの端部は、カットしない部分をプライヤーなどで固定して折り取ってください。

#### お願い

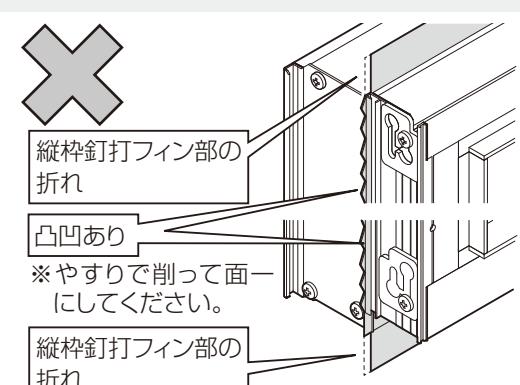
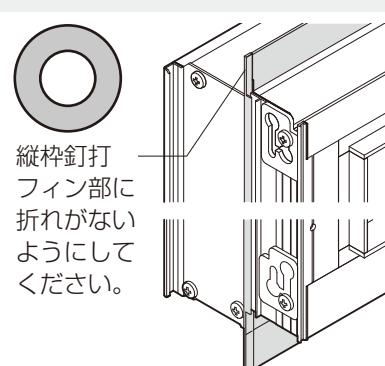
●連結部の縦枠にブラケットがついている場合ははずしてください。



#### ■B部詳細図

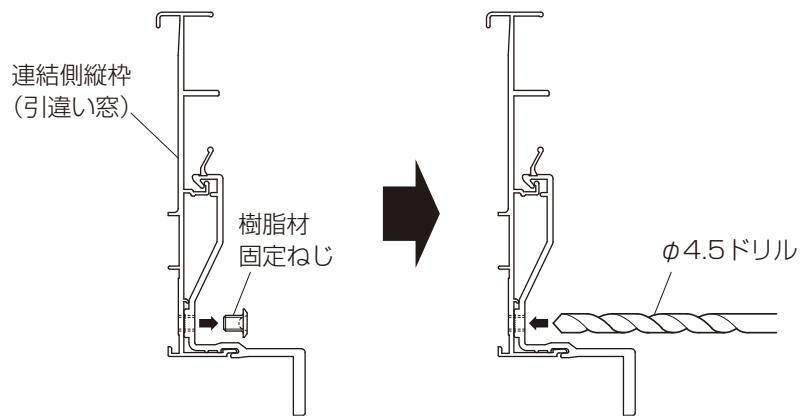


●縦枠釘打フィンのカット時、フィンカットしない部分が破損・変形しないようにしてください。また、フィンカットした部分は凹凸がないようにしてください。連窓方立部との圧着が弱くなり、漏水の原因となります。



### 3樹脂材固定ねじ部の加工

- ※装飾引違い窓の連結側縦枠のみ実施してください。(右図は引違い窓縦枠を連窓方立に連結する例を示します。)
- ①装飾引違い窓の連結側縦枠の上下の樹脂材固定ねじを外します。
  - ②樹脂材固定ねじを外した穴をφ4.5穴に広げます。



### 4スペーサーの貼付け

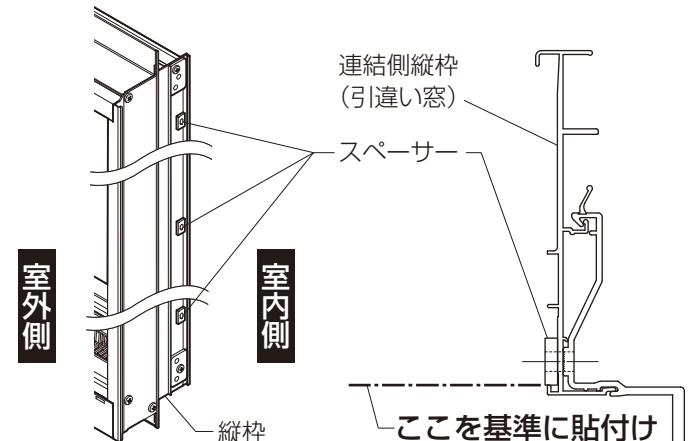
※装飾引違い窓の連結側縦枠のみ実施してください。(右図は引違い窓縦枠を連窓方立に連結する例を示します。)

- ①装飾引違い窓の連結側縦枠の上下の樹脂材固定ねじ穴と、中間の軸体固定穴の全てに、穴位置を合わせてスペーサーを貼付けてください。

#### ▲注意

- 装飾引違い窓の連結側縦枠のすべてのねじ固定穴にスペーサーを貼付けてください。連結がズレて漏水の原因となります。

#### [チェックNo. 1]



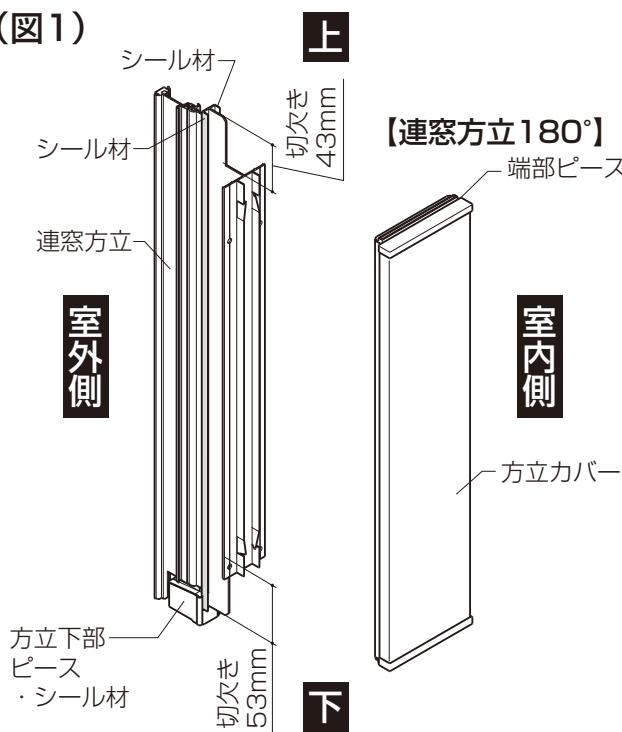
### 5連窓方立との連結

※連結前に連窓方立の上下を確認してください。

(図1)

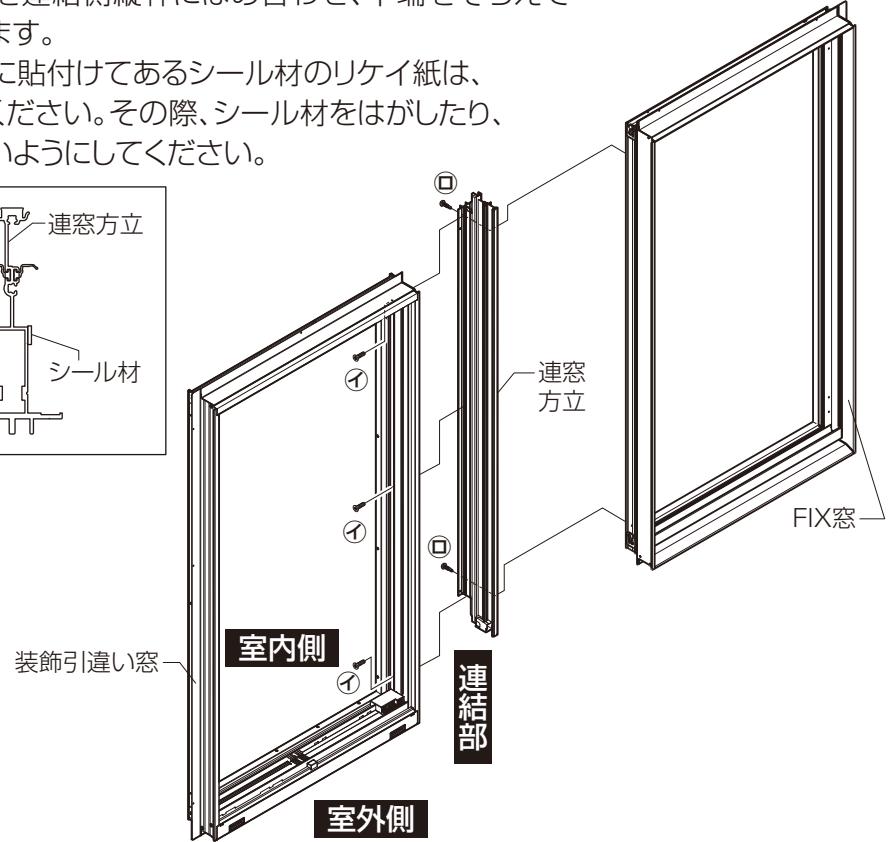
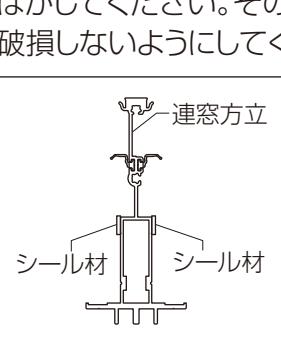
(方立カバーに上下はありません。)

#### (図1)



- ①連窓方立を連結側縦枠にはめ合わせ、下端をそろえてはめ込みます。

※連窓方立に貼付けてあるシール材のリケイ紙は、はがしてください。その際、シール材をはがしたり、破損しないようにしてください。

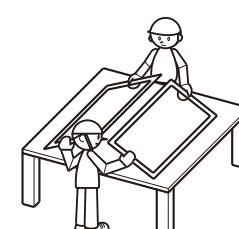
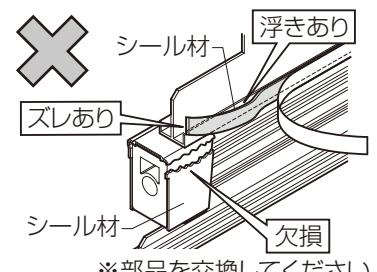
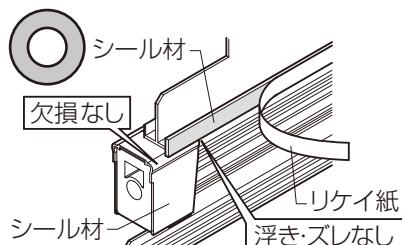


#### ▲注意

- 連窓方立に貼付けてあるシール材は浮きやズレがないようにリケイ紙をゆっくり剥がしてください。また、シール材を欠損させたまま組立てないでください。漏水の原因となります。その場合は、部品を交換してください。

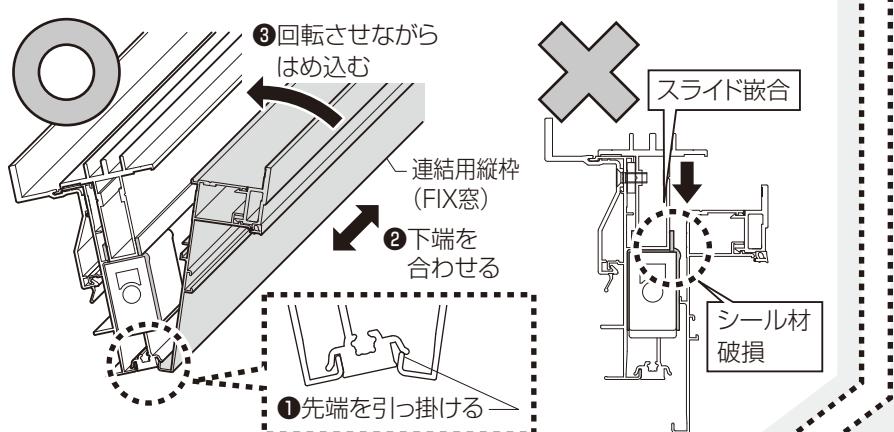
#### ▲注意

- サイズ・重量に応じて、複数人で組立て作業をしてください。漏水の原因となります。



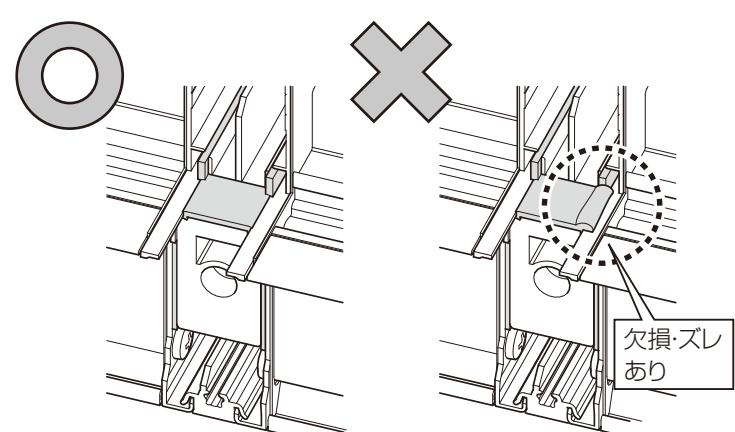
### ⚠ 注意

- 連窓方立と連結側縦枠の連結は下記の手順で行ってください。漏水の原因となります。

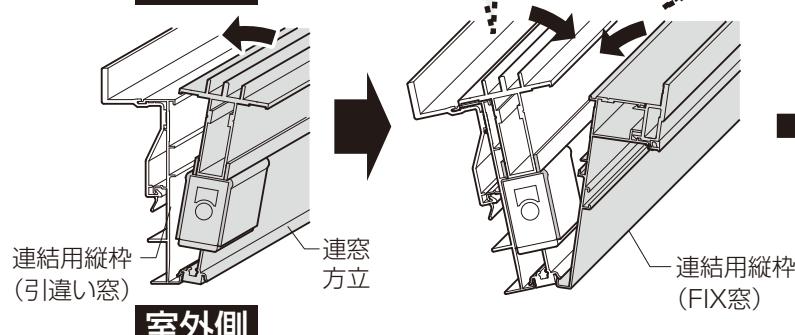


### ⚠ 注意

- 連結後シール材に欠損、ズレがないようにしてください。漏水の原因となります。



### 室内側



### 室外側

②連結用縦枠(引違い窓)のねじ固定穴の穴位置を合わせて、連窓方立に $\phi 3.5$ の下穴をあけます。連窓方立の下穴は、溝位置に合わせてあけてください。

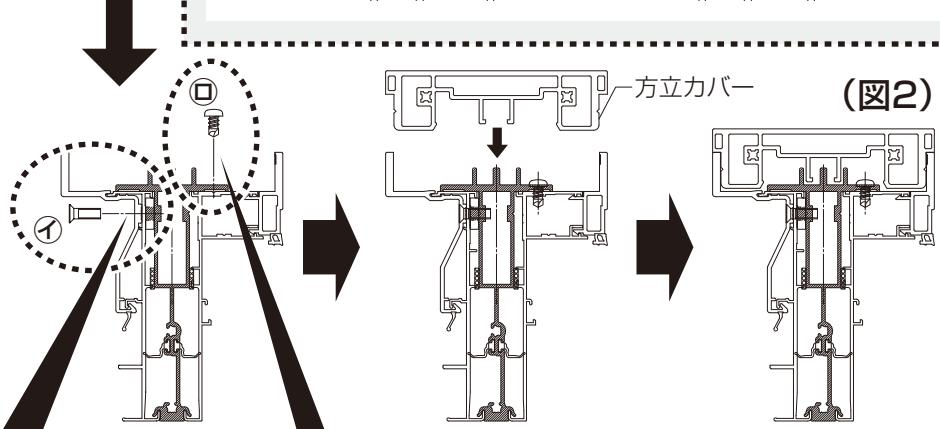
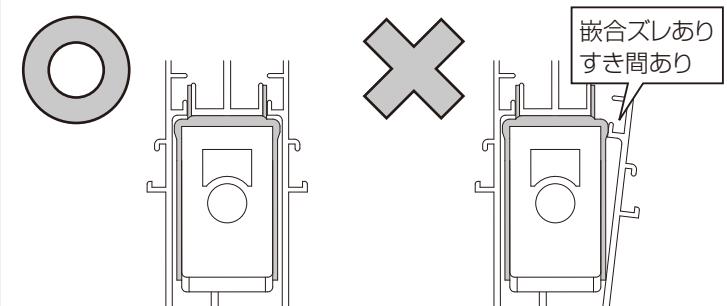
③連結用縦枠(引違い窓)をねじ止めします。(①のねじ)

④連結用縦枠(FIX窓)を連窓方立にはめ合わせ、下端の穴位置を合わせながら穴をすべてねじ止めします。(②のねじ)

※下端のみサッシ枠に下穴があいています。(サッシ枠に取付いているプッシュボタンは取外してください。)  
(図2)

### ⚠ 注意

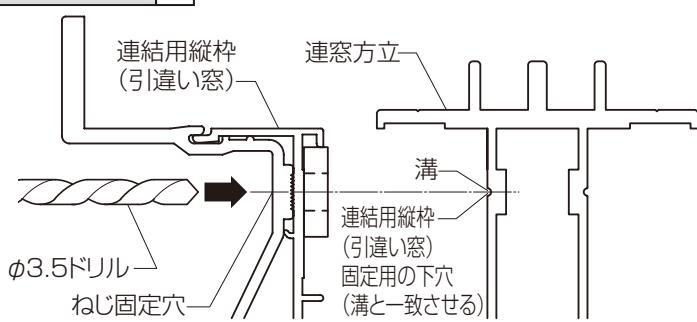
- 嵌合にズレやすき間がないようにしてください。漏水の原因となります。



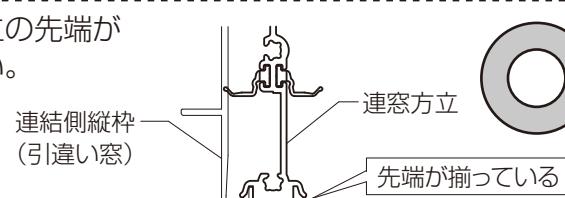
### ⚠ 注意

- 連窓方立の連結用縦枠(引違い窓)固定用の下穴は、溝と一致させてください。連結がズレて漏水の原因となります。

#### チェックNo.2

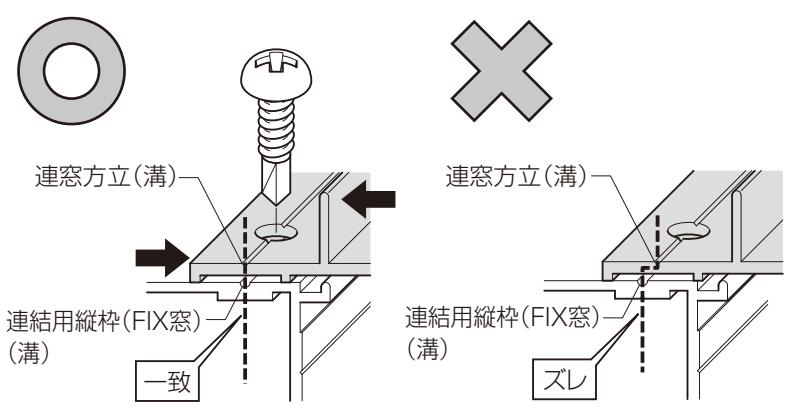


連結用縦枠(引違い窓)と連窓方立の先端が揃っていることを確認してください。

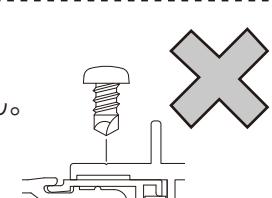


### ⚠ 注意

- ねじ止めは、連窓方立の溝と連結用縦枠(FIX窓)の溝を一致させてください。漏水の原因となります。

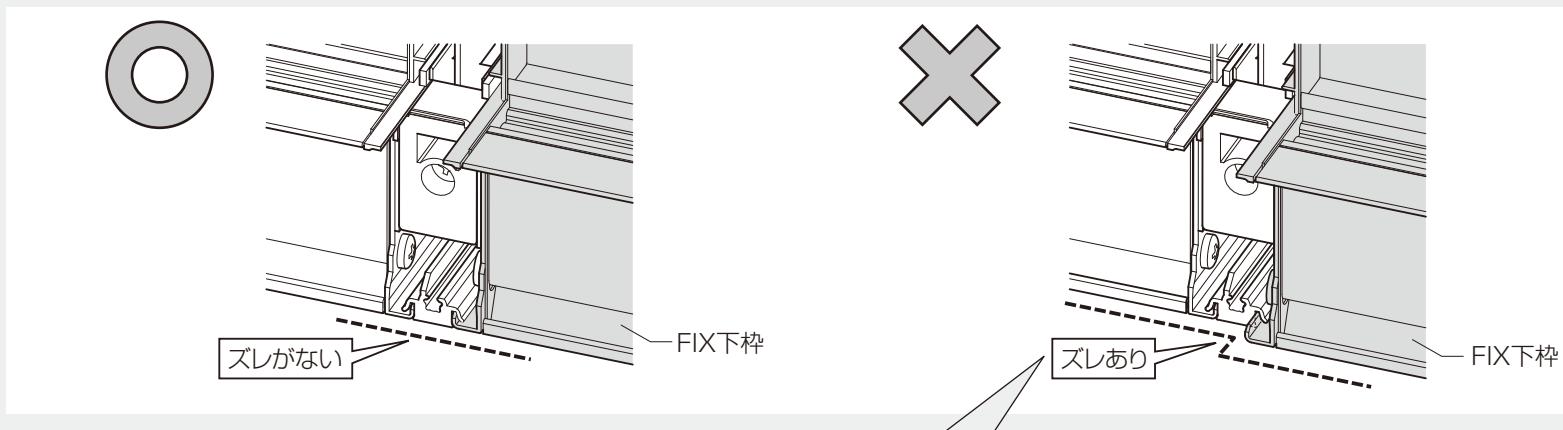


連結用縦枠(引違い窓)取付け側の連窓方立の取付け穴は使用しません。

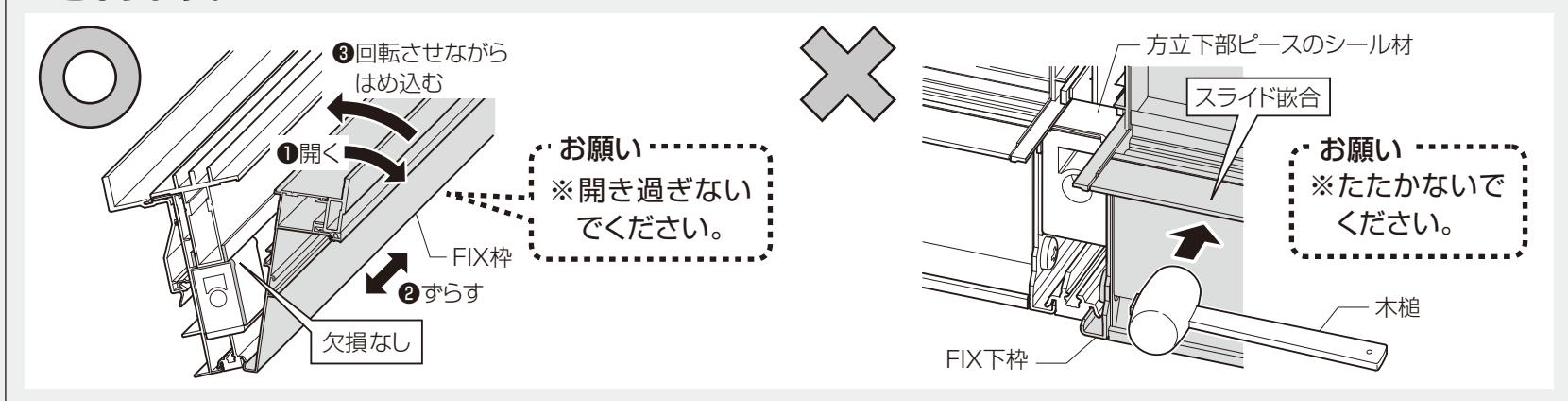


## ▲注 意

- 下側を基準に嵌合にズレがないようにしてください。上下キャップ取付けの際、圧着が弱まり、漏水の原因となります。

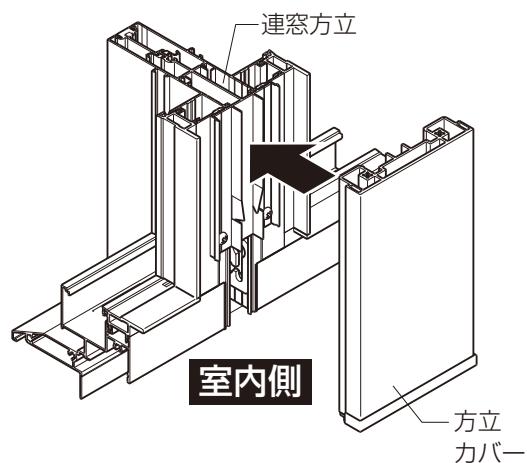


- ズレがある場合は下図の手順に従って修正してください。方立下部ピースのシール材が切れ、漏水の原因となります。

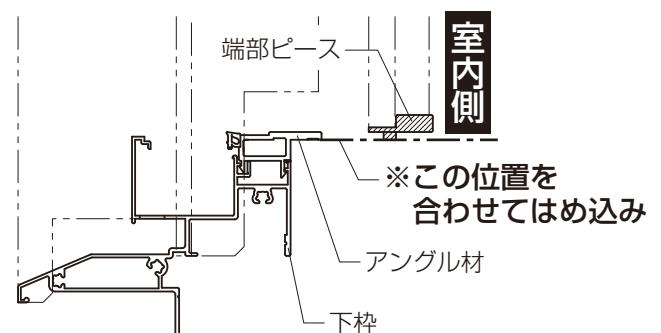


- ⑤方立カバーは、方立カバーに取付いている端部ピースとサッシアンダルの位置を合わせはめ込みます。(図3・図4)

(図3)

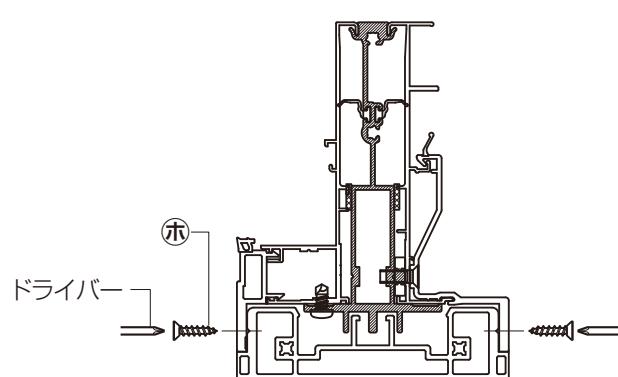
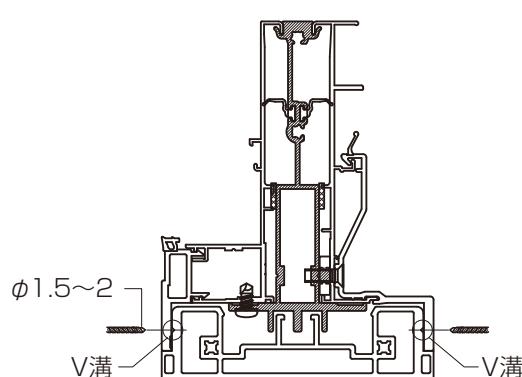


(図4)  
【連窓方立】



- ⑥サッシ本体のアンダル取付け穴から立方のV溝に、 $\phi 1.5\sim 2$ のドリルで下穴を開けます。

- ⑦アンダル取付けねじを取り付けます。  
※方立カバーの浮き・ガタツキがないことを確認してください。  
※アンダルねじはまっすぐにねじ込んでください。  
※アンダルねじの締めすぎに注意してください。  
形材が変形などをおこさない程度に締付けてください。



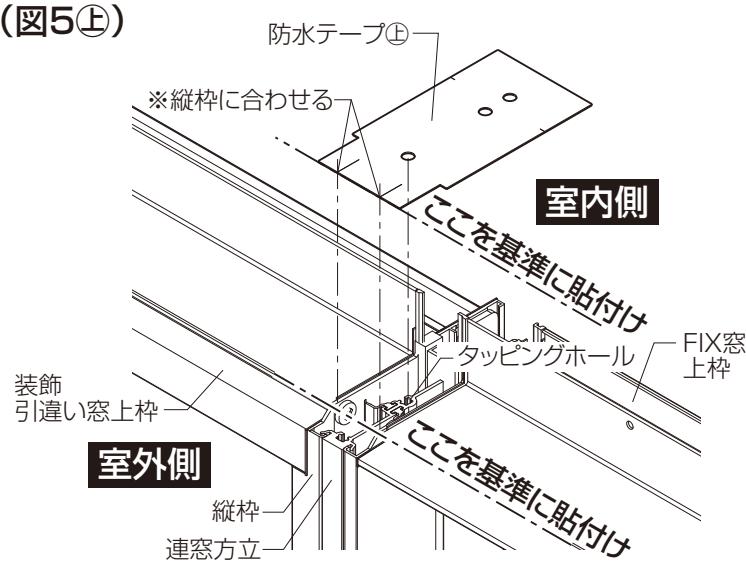
## 6 防水テープの貼付け

●防水テープを貼付け基準位置に合わせ、サッシ枠に沿って貼付けます。

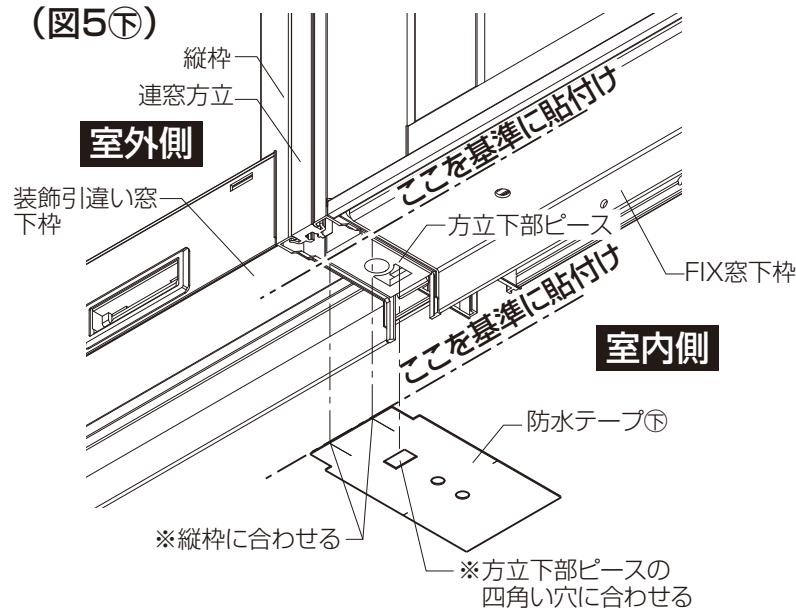
①上部は、防水テープ①を上枠先端に合わせ、防水テape①の切込みをサッシ縦枠に合わせます。(図5①)

下部は、防水テape②を方立下部ピース先端に合わせ、防水テape②の切込みをサッシ縦枠に合わせます。(図5②)

(図5①)



(図5②)



②上部は、防水テape①の穴位置と連窓方立のタッピングホールを合わせ、

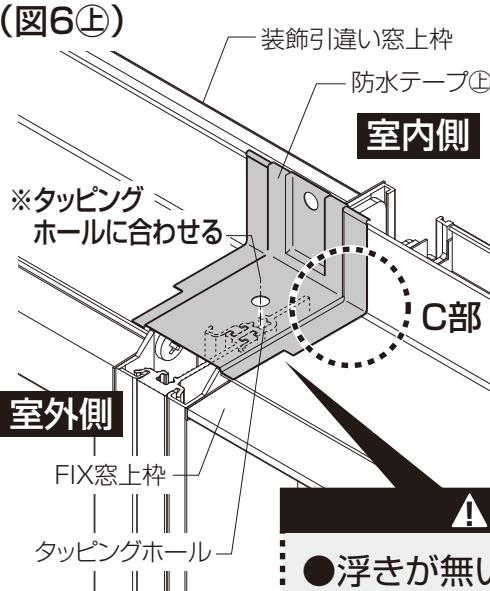
サッシ枠に沿って貼ります。(図6①)

下部は、防水テape②の穴位置と方立下部ピースの四角い穴位置を合わせ、

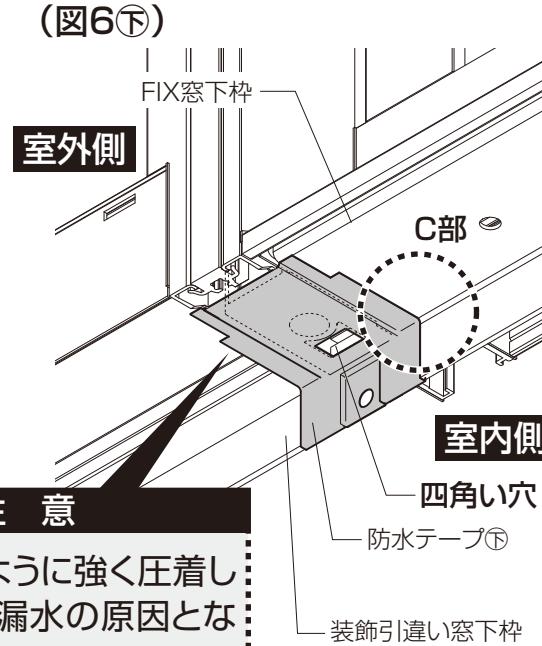
サッシ枠に沿って貼ります。(図6②)

※コーナー部は、必ず押さえてすき間があかないようにしてください。

(図6①)



(図6②)

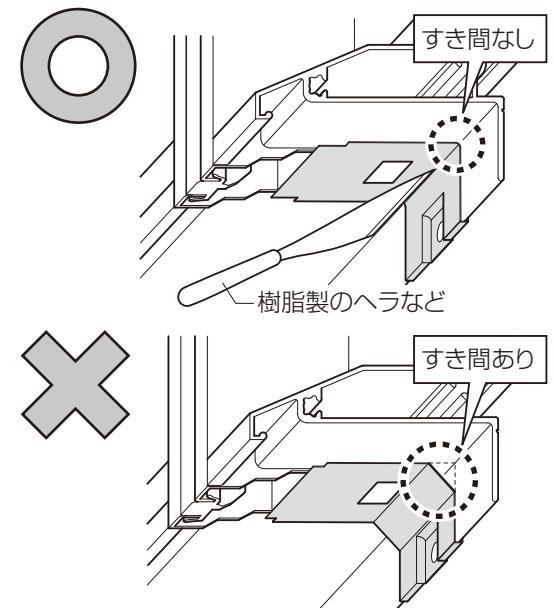


### ! 注意

●防水テapeはサッシ枠に沿って必ず  
圧着してください。また、押え過ぎて  
切れないようにしてください。  
漏水の原因となります。

チェックNo.3

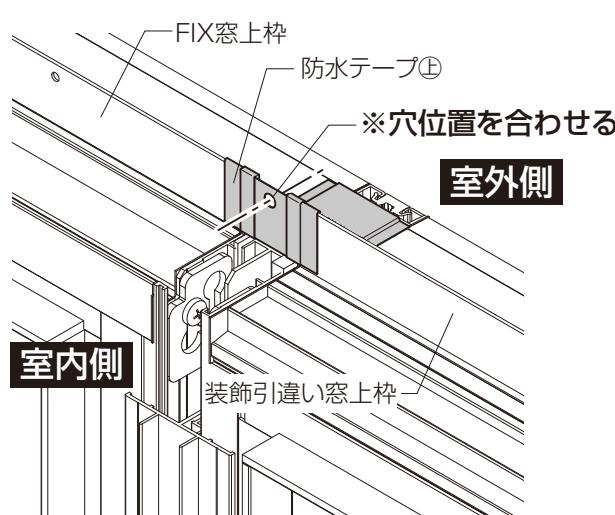
■C部詳細図 ※図は下枠を示します。上枠も  
同様に圧着してください。



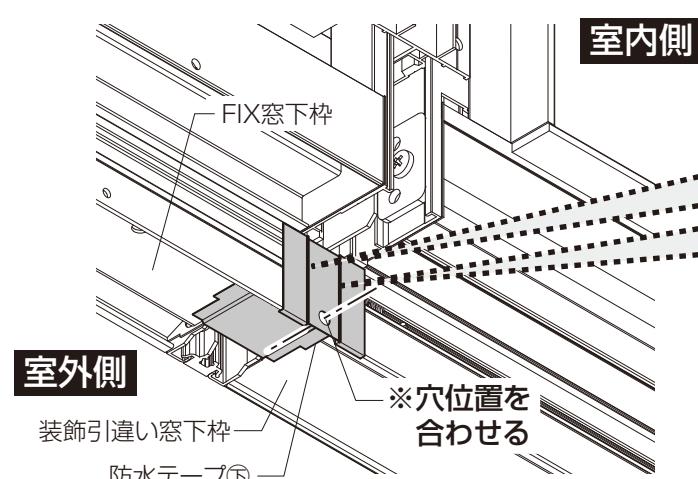
③防水テape切込み部でフィンを折り返し、フィン裏側まで貼ります。

※防水テapeの2つの穴位置を合わせて折り返してください。(図7①②)

(図7①)



(図7②)



### ! 注意

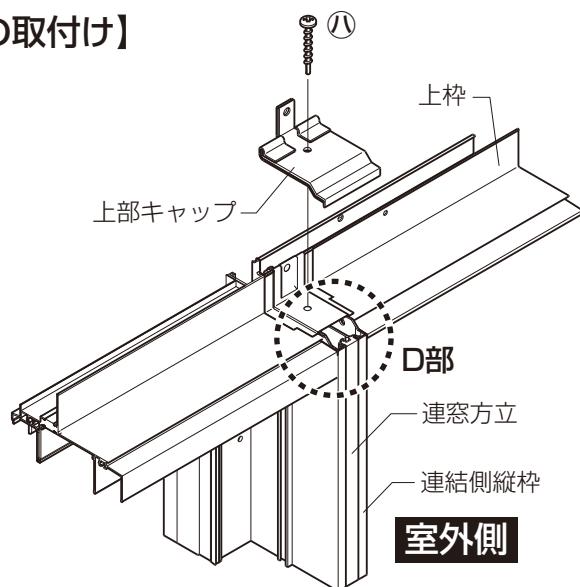
●浮きが無いよう  
に強く圧着して  
ください。漏水  
の原因となります。

## 7 上・下キャップの取付け

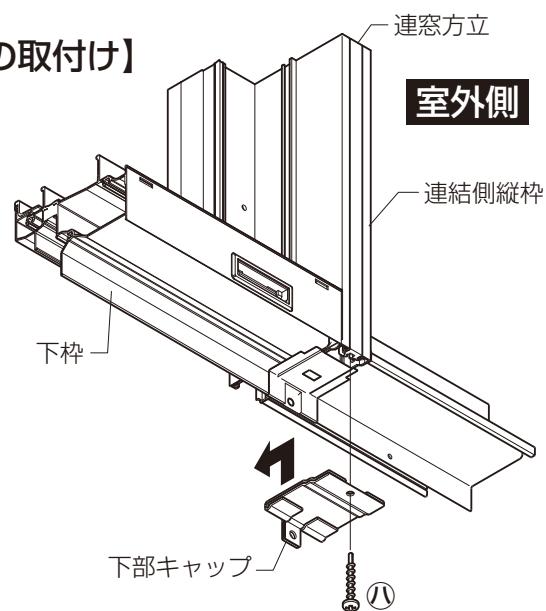
●連結部の上・下にキャップをねじ止めします。

※キャップには上・下がありますので確認してください。

### 【上キャップの取付け】



### 【下キャップの取付け】

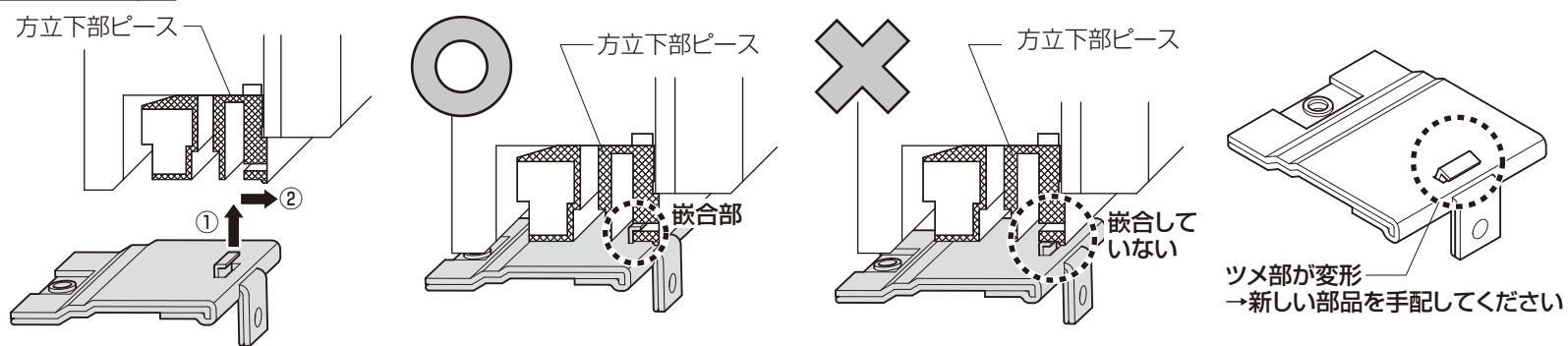


## ▲注 意

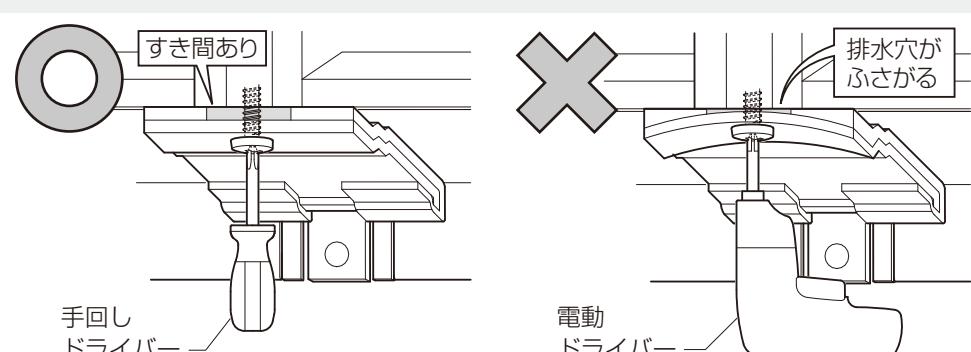
●漏水の原因となりますので、下記事項をお守りください。

- ・下部キャップは、ツメが変形していないこと、方立下部ピースに嵌合していることを確認してください。

### チェックNo.4



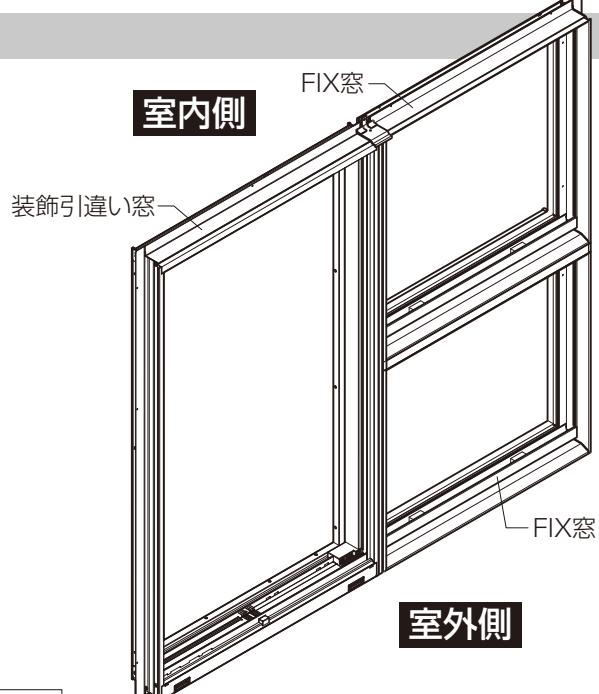
- ・電動ドライバーは使用しないでください。
- ・ねじは、 $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$  { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキがないこと、また排水穴にすき間があることを確認してください。



## ■連段窓の場合の組立て順序

### 【組立て例：装飾引違い窓+FIX窓+FIX窓】

※障子・ガラスは、枠を軸体に固定した後に入れてください。



## 1段窓部の組立て

※詳細は、「段窓無目組立て説明書」を参照してください。

①連結部上下(室内側)に連窓用裏板を入れて組立てます。(1連窓用裏板の取付け)参照

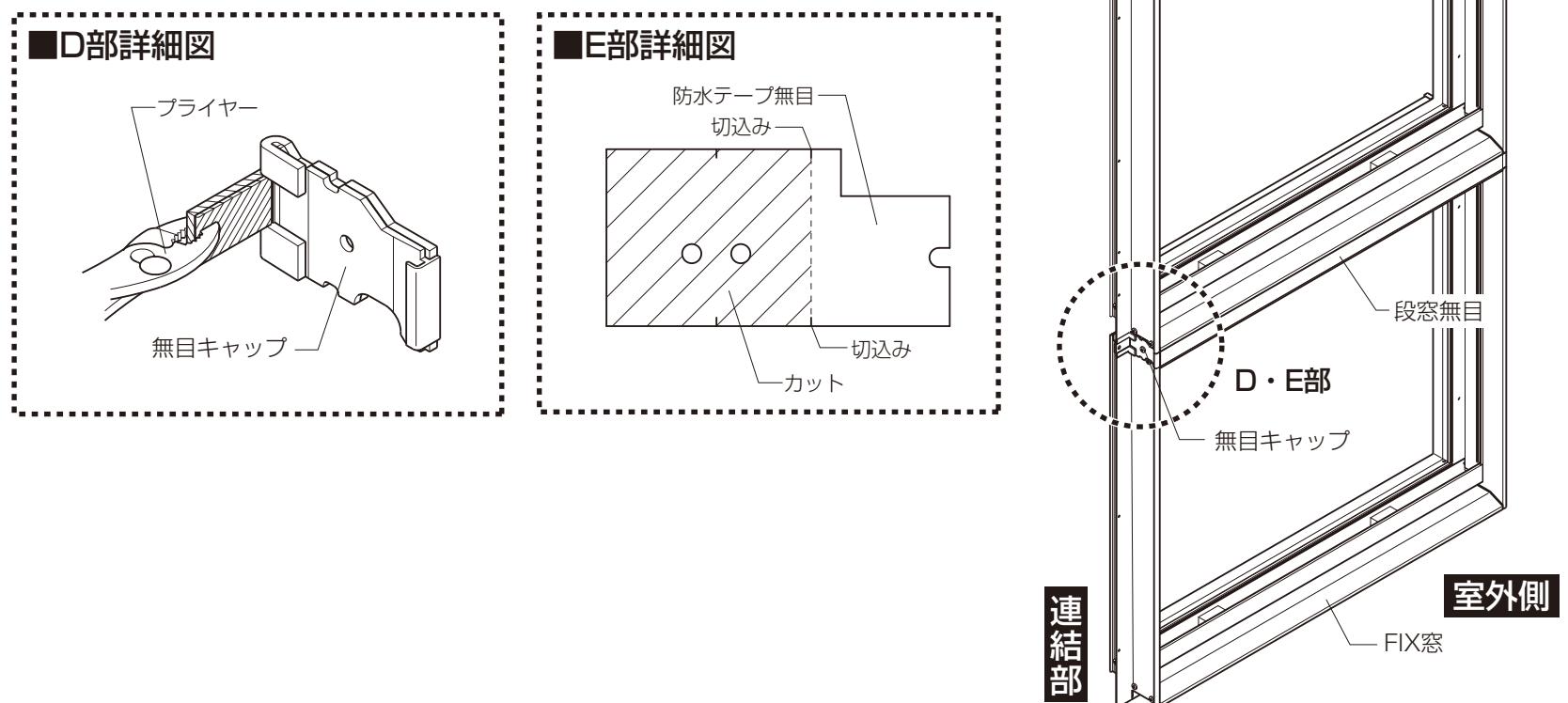
②連結部の縦枠釘打フィンを折り取ります。(2縦枠釘打フィンのカット)参照

③無目キャップの連結部縦枠釘打フィンを折り取ります。(D部詳細図)

※無目キャップのV溝にカッターで1~2回スジをつけ、プライヤーなどで

部を取ります。

④防水テープ無目の連結部をカットします。(E部詳細図)



## 2連窓部の組立て

①組立て順序「5連窓方立との連結」を参照してください。

※連窓方立の穴が、F部の段窓サッシの連結側縦枠(連結する相手部材)がない部分にきた場合、連窓方立の穴を上または下にずらして穴( $\phi 4.2$ )をあけてください。

②組立て順序「6防水テープの貼付け、7上・下キャップの取付け」を参照してください。

